ＰＤＡ 即興型英語ディベート京都交流大会２０２３

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2023 年 11 月 3 日（金・祝）13:40-15:00
会場：オンライン（Zoom）
参加校：6 校、12 チーム（京都府立嵯峨野高等学校、京都市立堀川高等学校、
京都府立洛北高等学校、京都市立塔南・開建高等学校、
京都府立鳥羽高等学校、京都市立日吉ケ丘高等学校）
参加者：生徒 34 名、教員 17 名
スタッフ：PDA スタッフ、 東京外国語大学、PDA 認定教育ジャッジ

開会式では、京都市立日吉ヶ丘高等学校長・太山陽子先生より、「ディベートの一番のメリットは、自分とは他の立場に立って考えることです。自分では考えてなかったことや異なる意見を持つ人の立場に立って表現や言語化することは重要です。社会に出ても、最終的にはいろんな課題に対して色々意見を出し合って議論して解決する、そのための準備として大事なものです。今大会においては交流をたくさんしてみてください。」とメッセージが送られました。次に、一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）代表理事・中川智皓が、Chat GPT が普及しつつある世の中で、確率的に正しそうなものは出してくれる一方、いろんな人間のジャッジの話を聞くことで、感じ方や人間のユニークな言葉を聞くことが出来る、とディベートの重要性とともにメッセージが送られました。その後、PDA スタッフより、参加校の紹介、評価基準の説明などが行われました。POI（Point of Information：相手チームに質疑応答を要求するルール）の練習が行われ、「POI！！！」と言いながら片手を頭に乗せてもう片方の手を伸ばす POI のポーズを行いました。

PDA 代表理事・中川智皓によるご挨拶

全員で「POI！！」

POI の練習が終わると、早速第１ラウンドの始まりです。第１ラウンドのお題は**“Online shopping is better than going shopping. （ネットでの買い物は、実際に店に行って購入するより良い。）”**でした。肯定側も否定側も、店舗に直接いくこととネットでの買い物を比較しながら考え、噛み合った議論が行われました。

ディベートの様子

エアー握手（日吉ケ丘 VS 鳥羽 A）

エアー握手（嵯峨野 D VS 堀川 Team2）

続く第２ラウンドのお題は、**“Having a boyfriend or girlfriend is a waste of time for high school students. (恋人を持つことは、高校生にとって時間の無駄だ。)”**でした。どちらのチームも、高校生の将来を見据えて恋人がいることの影響力を論理的に説明しました。疑問が浮かぶとすかさず POI を行い、質疑応答をする場面も見られました。ディベートが終わると、ジャッジのフィードバックが始まるまでの時間、交流しました。

そしてジャッジが高く評価した生徒６名によるエキシビションディベートが始まりました。論題は**“Japan should legalize ridesharing businesses. （日本は、有料のライドシェアサービスを合法化すべきである。）”**でした。エキシビションディベートでも多く POI が飛び交い、鋭い質問を投げかける場面も見られました。

閉会式では、表彰式のあと、京都市立紫野高等学校長・北村光司先生より、「大事なことを考える際には、考

エキシビションディベートの様子

え続ける『持久力』と咄嗟に考える『瞬発力』が重要である。ディベートはその力を養うことができ、自分の考えとは違う立場で考えることで視野が広がります。」と講評のコメントが送られました。

〈チーム賞〉

1位　嵯峨野高校　　Cチーム
2位　鳥羽高校　　Bチーム
3位　嵯峨野高校　　Dチーム
4位　鳥羽高校　　Aチーム
5位　嵯峨野高校　　Bチーム　＆ 塔南・開建高校

参加者の声（アンケートより抜粋）

（生徒の声）

・また近いうちに挑戦したい
・もっと回数を増やして欲しいです
・他校の生徒の方と交流出来て楽しかったです
・とても楽しかったです！
・エキシビションディベートで、初めて本格的にジャッジをしたので楽しかった
・とても楽しかったです！ぜひ次回も参加したいです！
・嬉しい気持ちと悔しい気持ちの両方を感じることができてとても良い経験になりました
・久しぶりに合流大会をやって学べることもたくさんあってよかった。
・ディベートの経験を積むことができてとても良かった。
・初めてディベートをやって見て色々な改善点が見つかりました。
・他校とやる機会がなかなか無いので嬉しかった。
・色々な高校と交流できて楽しかったし、とても参考になる点が沢山みつけられた。
・初めての体験だったので終わった今でもすごく興奮気味で印象深い経験になったと思う。
・始まる直前まで緊張で帰りたいと思うほどでしたが、一回戦が終わった瞬間にこのイベントに参加して良かったと思えました。負けはしましたが、前回よりも確実に成長し、笑顔の多かったイベントでした。
・的確なアドバイスを貰えて良かった。
・間違いを恐れて控えめに行動するんじゃなく、とりあえずやって見ることの楽しさを知れた。人数合わせで出たのに楽しめた。
・知らない先生から好評いただけて嬉しかったです
・他校の人と関わることで色々な英語を聞けて耳の訓練になった。色々考えられてよかったです。
・自分の弱点とディベートの進行の感じ、ルールなど改めて振り返られた。
・先輩と関わるきっかけになったので良かったです。

・論題が面白かったし、普段と違う環境で練習することで、ディベートに対する意欲が高まって良かったです。
・色んな人と話して、色んな観点からのフィードバックを聞けたので良かったです。
・たくさんの高校と交流できて楽しかったです
・普段とは違うジャッジの先生、対戦相手、練習場所でディベートができて楽しかったです。
・自分の現状を知る機会になりいい経験になりました。そして本当に楽しかったです。
・論題については考えさせられることも多く、相手が予想外の視点から攻めてくることもあり、かなり歯応えのある試合を楽しむことも出来ました。またジャッジの方々からも多数の的を射たアドバイスもいただけ、改善点の発見もできました。
・話の内容がまとまっていてすごく聞きやすい話し方をする人がたくさんいて、今後の目標ができたので、これからも頑張ろうと思いました。
・とても楽しかったです。いつも日吉ヶ丘の大会を目標に頑張っているので、今年も開催していただきありがとうございました。
（教員の声）
・生徒たちにとって非常に有意義な実践になったと思います。ありがとうございました。